

「地域キャリア教育支援協議会設置促進事業」実施報告書

1. 実施主体	
本事業を受託し、協議会の核となる自治体、もしくは経済団体等名	兵庫県教育委員会
2. 現状及び課題	
地域内でのキャリア教育に関する現状	<p>本県では、児童生徒の成長段階に応じた勤労観・職業観をはぐくむため、発達段階に応じた体験活動を体系化してキャリア教育を推進している。</p> <p>義務教育段階では、公立小学校3年生対象に「環境体験事業」、公立小学校5年生対象に「自然学校推進事業」、公立中学校1年生対象に「青少年芸術体験事業－わくわくオーケストラ教室－」、公立中学校2年生対象に「地域に学ぶ『トライやる・ウィーク』推進事業」を実施し、高等学校では、「高校生ふるさと貢献活動事業－トライやる・ワーク－」、「高校生就業体験事業－インターンシップ推進プラン－」を全県立高校生対象に実施するなど、体験活動を中心に据えたキャリア教育の推進を図っている。</p>
地域内でのキャリア教育に関する課題	<p>1 系統的なキャリア教育の推進に課題 キャリア教育の推進にあたり、他校種の教育内容を十分に意識していないため、系統的な教育活動となっていない状況にあり、各学校で行うキャリア教育の活動を効果的な教育活動としていくための異校種間の連携に課題がある。</p> <p>2 キャリア教育に対する共通認識に課題 キャリア教育に対する学校、地域、産業界、教育機関、行政との共通認識が不十分な状況であり、学校、家庭、地域、企業等との連携が課題である。</p> <p>3 就業体験活動(インターンシップ)だけでないキャリア教育の充実に課題 インターンシップ推進協議会を設置しているが、インターンシップの実施率を上げるだけでなく、キャリア教育全体の充実にに向けた推進体制の見直しが課題である。</p> <p>4 体験活動を支える体制に課題 体験活動を中心に据えたキャリア教育では、それぞれの発達段階に応じた体験活動を通して成果を上げてきているが、学校のニーズや地域のニーズのマッチングが不十分な点もあり、体験活動を支える体制に課題がある。</p>
3. 委託内容に対する取組	
(1)学校におけるキャリア教育に対する支援を目的として、地域の関係者が参画する会議体の設置及び運営	
地域の推進体制(図などを用いて地域全体の体制が分かるように示すこと)	

	団体名	役割
協議会の構成	兵庫県経営者協会	経済団体の代表、傘下の企業との協力
	兵庫県商工会議所連合会	経済団体の代表、傘下の企業との協力
	日本労働組合総連合会兵庫県連合会	労働組合の代表
	兵庫県立高等学校長協会会長	県内高等学校の代表
	兵庫県職業能力開発協会	職業訓練、職業能力検定の推進
	一般財団法人兵庫県雇用開発協会	若年者に対する援助、相談、普及啓発
	兵庫労働局	行政
	兵庫県	行政(労働商工関係部局)
	兵庫県教育委員会	行政(教育)
目標	<p>学校において外部人材を活用したキャリア教育を推進するため</p> <p>(1)学校、地域、企業・経済団体、行政が連携して協議会を開催し、地域におけるキャリア教育推進のネットワークを構築する。</p> <p>(2)学校が外部人材を活用してキャリア教育を推進するためのデータベースの構築とマッチングを充実させる仕組みをつくる。</p>	
方針	<p>○これまでに兵庫県で取り組んできた組織を活用して新しいネットワークを構築する。</p> <p>○学校や企業等のキャリア教育に対するニーズを吸収するシステムを構築する。</p> <p>○学校がキャリア教育を推進するため、学校外の教育資源を容易に活用できる支援体制を構築する。</p>	
事業の自立的かつ発展的な運営体制	<p>○各関係団体の代表者によって構成する「キャリア教育支援協議会」を年3回開催する。</p> <p>○キャリア教育コーディネータを配置し、学校へのキャリア教育支援を専門的に行う。</p> <p>○本年度は、高等学校を主な対象として実施し、そのノウハウを次年度以降、小・中学校へ広げる方法を検討する。</p>	
(2)学校の教育活動に対して行われる、社会人講師の派遣や企業等が作成する一定の教育コンテンツの提供などによる支援の促進		
①支援を提案する支援提供者を開拓すること		
○構成員となる各関係団体に、学校現場のキャリア教育に関するニーズを提供するとともに、社会人講師の派遣や教育コンテンツの情報提供を依頼する。		
②支援に関する提案を学校に提示すること。		
○キャリア教育の支援に向けた社会人講師の派遣や教育コンテンツ等の情報を学校に提供する仕組みをつくる。		
③個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)。		
○学校現場のキャリア教育に関するニーズを個々に把握し、各校のニーズに対応したマッチングを行う仕組みをつくる。		
(3)学校の教育活動として校外で実施される職場見学、職場体験活動及びインターンシップ等に対する支援の促進		
①インターンシップ等の実施場所として児童生徒の受入れを提案する支援提供者を開拓すること。		
○構成員となる各関係団体に、就業体験活動(インターンシップ)の受入事業所の開拓に向けた協力を依頼する。		
②インターンシップ等に関する支援提供者の提案を学校に提示すること。		
○就業体験活動(インターンシップ)の受入先データベースを構築し、学校に情報提供する。		
③個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)。		
○学校現場の就業体験活動(インターンシップ)の受入先に関するニーズを個々に把握し、各校のニーズに対応したマッチングを行う仕組みをつくる。		
(4)その他の取組		
○専修学校の実習施設を活用した疑似職場体験の機会の提供		
○本年度実施する文部科学省主催の「キャリア教育アシストキャラバン」や進路指導研究会、初任者研修等を活用して、各校でキャリア教育を推進するための研修を実施		

4. 計画・スケジュール	
実施時期	実施内容
平成25年10月	兵庫県「地域キャリア教育支援協議会」の設置、委員委嘱
平成25年10月	第1回会議(高等学校におけるキャリア教育の課題について)
平成25年12月	第2回会議(高等学校におけるキャリア教育の課題について・高等学校におけるキャリア教育の充実方策について)
平成26年3月	第3回会議(高等学校におけるキャリア教育の充実方策について・協議会のまとめについて)
5. 協議会の成果と課題	
<p>※計画段階で示していた検証方法を踏まえ、客観的・具体的に記載すること。 ※成果を踏まえた今後の課題についてもあわせて記載すること。</p>	<p><成果></p> <p>1 系統的なキャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育推進の方向性を明確化 第2期「ひょうご教育創造プラン(兵庫県教育基本計画)」(H26.1.20策定)の基本方針において、兵庫県の教育の重点課題として取り組むキャリア教育の方向性を明確にした。 ・小・中・高を通じたキャリア教育を推進 小学校では児童のキャリア形成に向けた教師用「キャリア教育指導資料」、中学校では「キャリアノート」、高等学校では「兵庫型高校生キャリアノート」を新たに作成し、その内容に学校関係者だけでなく企業・経済団体等の意見を取り入れることとした。 ・高等学校と中学校との連携を推進 高等学校と中学校との連携が少なく、情報交換等の機会がないため、地域単位で「県立高校キャリア教育地域サポート協議会(仮称)」の設置検討を行うこととした。 <p>2 キャリア教育に対する認識の共有化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県「地域キャリア教育支援協議会」でのキャリア教育の必要性を認識 キャリア教育に対する認識が委員間でばらばらであったが、キャリア教育に関する国の流れの説明およびキャリア教育の課題についての協議を重ねることで必要性を認識できた。 ・保護者への理解の促進とキャリア教育の概念や意義を周知 キャリア教育に関するホームページの作成とともに、「キャリアノート」を作成する際に、家庭でも子どもたちとともに将来のことを考えるような工夫をした内容を盛り込むこととした。 <p>3 就業体験活動以外のキャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を全校体制で推進する体制を促進 教員間の各学校の目指すべき力の共有化と目指すべき力を意識した教科・科目の学習指導を行うことができるよう、各学校においてキャリア教育の全体計画、年間指導計画作成を行うこととした。 ・地域におけるキャリア教育支援の体制を促進 地域中小企業の人材確保・定着支援事業と連携して、地域の企業のもつ人材派遣やキャリア教育プログラムと学校のニーズとのコーディネートを行う体制づくりを行うこととした。 <p>4 体験活動を支える体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県内の高校生対象キャリア教育事業を整理 これまで個々の部署による取組で全体把握ができていなかった高校生を対象としたキャリア教育関連事業の整理を行い、今後のキャリア教育支援施策の全体像が把握できた。 ・高等学校と地域との連携を推進 高等学校と地域との連携が少なく、情報交換等の機会がないため、地域単位で「県立高校キャリア教育地域サポート協議会(仮称)」(再掲)の設置検討を行うこととした。 ・地域におけるキャリア教育支援の体制づくり 地域中小企業の人材確保・定着支援事業と連携して、地域の企業のもつ人材派遣やキャリア教育プログラム、インターンシップと学校のニーズとのコーディネートを行う体制づくりを行うこととした。
	体

<今後の課題>

- 1 本年度のキャリア教育の共通認識と課題の明確化及び方向性を踏まえ、今後は学校への具体的な支援を検討・実施する。
- 2 キャリア教育の概念や意義を教員に周知するとともに、全校体制でのキャリア教育を推進するために、実践的な教員研修を実施する。
- 3 個別具体の学校および企業のキャリア教育推進のためのニーズを把握し、効果的支援につなげる。
- 4 学校のニーズと企業のもつインターンシップを含むキャリア教育プログラムとのマッチングを行う。